

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】令和4年9月14日(2022.9.14)

【公開番号】特開2021-116833(P2021-116833A)

【公開日】令和3年8月10日(2021.8.10)

【年通号数】公開・登録公報2021-036

【出願番号】特願2020-9144(P2020-9144)

【国際特許分類】

F 16 C 33/46(2006.01)

10

F 16 C 19/26(2006.01)

F 16 C 33/34(2006.01)

【F I】

F 16 C 33/46

F 16 C 19/26

F 16 C 33/34

【手続補正書】

【提出日】令和4年9月5日(2022.9.5)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

同軸に配置される一対の円環部と、前記一対の円環部を軸方向で連結し、周方向に略等間隔に設けられる複数の柱部と、周方向に互いに隣り合う前記柱部及び前記一対の円環部により囲まれて形成され、円筒ころを転動可能に保持するポケットと、を有するころ軸受用保持器であって、

前記ポケットの軸方向端面であるポケット端面は、第1曲率半径R1の凹円弧形状に形成され、

前記ポケット端面の周方向端と前記柱部の周方向側面の軸方向外端とを接続する連結面は、第2曲率半径R2の凹円弧形状に形成され、

前記第1曲率半径R1及び前記第2曲率半径R2は、R1 > R2の関係を満たすように設定された

ころ軸受用保持器。

【請求項2】

前記第1曲率半径R1は、1mm~10mmの範囲に設定される

40

請求項1に記載のころ軸受用保持器。

【請求項3】

請求項1又は2に記載のころ軸受用保持器と、複数の前記円筒ころと、を備えるころ軸受であって、

前記円筒ころの軸方向両端面である一対のころ端面は、曲率半径Raの凸球面形状にそれぞれ形成され、

前記第1曲率半径R1及び前記ころ端面の曲率半径Raは、1.1 (R1/Ra) 1.7の関係を満たすように設定される、ころ軸受。

50